

令和 3 年 3 月吉日

BCC会員各位

自転車文化センター

「BCC友の会だより」(No.44) 送付について

謹啓 会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。
この度、「BCC友の会だより (No.44)」を発行いたしましたので、ご送付させて頂きました。
ご高覧のうえ、ご意見、ご感想などお寄せ頂けると幸いです。
会員の皆様へは、自転車に関するさまざまな情報をより多くご提供できるよう今後も努力して
いく所存であります。

さらなる、自転車文化センターのご利用をお待ちしております。

謹 白



友の会だより No.44

(2021年3月10日発行)

自転車文化センター

〒141-0021 東京都品川区上大崎 3-3-1

TEL 03-4334-7953 / FAX 03-4334-7958

Email bccask@jifu.jp

OPEN 9:30~17:00 (最終入館 16:45)

CLOSE 月曜日(祝日の場合は翌平日)

令和2年度第4回テーマ展示

～求められる電動アシスト自転車展～

- 開催期間：令和3年1月14日(木)～4月25日(日)(予定)
- 開催場所：自転車文化センターギャラリー・ライブラリー
- 開催時間：9:30～17:00 (最終入館16:45)【※注】
- 休館日：月曜日(但し、月曜日が祝日の場合は、翌平日)
- 入館料：無料
- 展示内容：世界的に増加傾向にある電動アシスト自転車は、開発されてから約27年余り、今ではモーターやバッテリーなど各社がしのぎを削って製作し、今後も改進の一途をたどっています。現在は、子乗せ用や3人乗り用、高齢者向けに安定性も備えた三輪タイプ・ロードタイプ・クロスバイク・マウンテンバイクといったスポーツバイクに特化した、アシストユニットを搭載したE-バイクと言われるものなど、その使用用途は多岐にわたります。そんな生活の足として定着しつつある電動アシスト自転車の形態、ユニットの違いなど自転車の構造を比較しながら一同に集め、パネルでの解説並びに実車の展示を行っております。皆様のご来館お待ちしております♪



【※注】新型コロナウイルス感染拡大防止を受けて、現在、開館時間 11:00/閉館時間 15:00 に変更しております。開閉館時間につきましては、随時、当センターHP等にてお知らせいたしますのでご利用の際は、そちらをご確認いただきご来館くださいますようお願いいたします。

『オンラインハンドメイドバイシクル 2021』

例年、会場にて開催しておりました「ハンドメイドバイシクル展」でございますが、今回は形式を変えて下記のとおりオンラインにより開催しております。

- ◆開催期間：令和3年2月13日(土)～3月21日(日)
- ◆出展社：33社
- ◆掲載場所：自転車文化センターホームページ並びにSNS (Facebook・Twitter・YouTube)
- ◆スペシャルオンライントークショー：令和3年3月20日(土) 19:00からLIVE配信予定
「自転車を安全に乗るために」/絹自転車製作所 荒井 正氏

新着図書のご案内

「MTB 日和 vol.43」(辰巳出版)
「『自転車日和』サイクリングブック」(辰巳出版)
「カンボジア自転車プロジェクト／オッサンが国際支援をはじめた！」(安田勝也 著／新評論)
「MOUNTAIN BIKE ACTION 35-11」
「自転車キャンプを楽しむ 50 のヒント」(八重洲出版)
「おかあさんの赤い自転車」(高星かつお・渡辺のりこ 著／文芸社)
「バイシクルクラブベストセレクション Vol.1」(柊出版社)
「日本懐かし自転車大全」(内藤常美 著／辰巳出版)
「自転車日和 57」(辰巳出版)
「自転車道総集編 vol.02」(八重洲出版)
「自転車通勤完全ガイド」(八重洲出版)
「関西ヒルクライムコースガイド」(八重洲出版)
「MOUNTAIN BIKE ACTION 35-12」
「自転車大好き 3 号」(舟橋武志 著／ブックショップマイタウン)
「クロスバイク購入完全ガイド」(コスミック出版)
「60 歳から楽しめる自転車趣味人」(辰巳出版)
「競輪という世界」(轡田隆史 著／文芸春秋)
「MOUNTAIN BIKE ACTION 36-1」
「本気×本気」(風の子ふうこ 著／パレード)
「トップレーサーが教えるズイフト活用法」(ロードバイク研究会 著／日東書院本社)
「MTB 日和 vol.44」(辰巳出版)
「旅自転車ランドナー & ツーリング車の本」(柊出版社)
「自転車通行を考慮した交差点設計の手引改訂版／平面交差の計画と設計」(交通工学研究会)
「旅にでて日々ひとを好きになる」(西野旅峰 著／石風社)
「MOUNTAIN BIKE ACTION 36-2」
「じいちゃんじてんしゃしゅっぱつしんこう」(五足萬・永山健一郎 著／さいはて社)
「わるいのはじてんしゃ？／子どもが安全にくらすためによむ絵本」(田中ひろし・中谷靖彦 著／ベネッセ・ル・カ・ジ・ソ社)
「東海自転車さんぽ」(木村雄二 著／風媒社)
「LOOP Magazine Vol.29」
「旧街道じてんしゃ旅旧中山海道編」(八重洲出版)
「MOUNTAIN BIKE ACTION 36-3」

♪BCC休館日のお知らせ♪

★月曜日休館〔祝・祭日の場合は翌平日〕

3月1日・8日・15日・22日・29日

4月5日・12日・19日・26日・27日(火)臨時休館

5月6日・10日・17日・24日・31日

「BCC友の会」会員募集中♪

自転車に関する書籍など、約 11,500 冊以上を所蔵しています。会員登録をしていただいた方に限り、図書の自由閲覧をすることができます。会員各位におかれましては、ご友人様などご紹介頂けたら幸いです。

「BCC友の会 1 日利用システム」♪

現在、皆様にもっと当センターを活用して頂きたい【1 日ご利用システム】を設置しております。是非、ご利用してみたいかがでしょうか!? ご利用の詳細は、BCCHP 又は BCC までお問い合わせください。

～友の会会員証有効期限のお知らせ～

『会員証』更新につきましては、入会日から2年間、ご来館のない場合は、無効となりますのでご注意ください。また、再入会の場合は、新たに入会手続きが必要となります。有効期限などご不明の場合は、BCCカウンタースタッフまで、お問い合わせください。

自転車文化センターにご来館の際は、必ず会員証をカウンターまでご提示ください♪



科学技術館入館チケット（招待券）プレゼント！

科学技術館（千代田区北の丸公園）「2F 自転車広場」には、当センター所蔵の歴史的自転車などの常設展示を引き続き行っております。ぜひお立ち寄りください。

♡友の会会員の方に科学技術館入館チケット(招待券)を先着10名様（お一人様2枚まで）に差し上げます。

自転車文化センター(目黒)にご来館のうえ、インフォメーションカウンターまでお申し出ください。

※現在、入館については、予約サイトからの入館予約が必要となりますのでご注意ください。
詳しくは、科学技術館HPにてご確認ください。

BCC 新型コロナウイルス感染防止対策

※ご入館の際に、手の消毒並びにライブラリー・ギャラリーカウンターにて非接触タイプの体温計を用い、ご来館者の体温を確認させていただきます。検温の結果、37.5℃以上の発熱が確認された場合、入館をお断りさせていただきます。

※来館者の把握と記録の為、入館用紙記入のご協力をお願いしております。氏名、連絡先（同伴者全員）をご記入ください。（ご記入いただいた情報は、自転車文化センターにて保管し、新型コロナウイルス感染症対策を目的として、保健所等公的機関への情報提供以外は使用いたしません。）

※入館後に、咳が止まらない等の症状が確認された場合、当施設責任者の判断によりご退館いただく場合がございます。

※ご来館の際にはマスクの着用をお願いいたします。

米国シアトルの自転車事情

《パートⅡ》

BCC サイクルアドバイザー

森下 昌市郎

BCC 友の会会員の皆様、こんにちは。今回は米国西海岸ワシントン州の都市シアトルのシェアバイク事情についてお伝えしましたが、今回はシアトル市内におけるバイクレーン（自転車専用通行帯）事情についてお伝えしようと思います。



シアトル市中心部を望む定番風景 クイーン・アン地区から（2015 年）

・シアトル市内のバイクレーン（自転車通行帯）について

前回のシェアバイク事情でもお話ししましたが、シアトル市は現在市内中心部など比較的狭いエリアでの歩行者・自転車を含む交通の見直しを行っています。この計画は 2015 年から始まり、現在も進行中です。プロテクテッドバイクレーンと呼ばれる自転車通行帯は、ちょうど道路の歩道寄りの 1 車線を使ってここに対面交通で設けられています。車が通る車線との境のライン標示の他に樹脂製のソフトポールが一定間隔で設けられていて車両が進入したり駐車したりできないようになっています。このことがプロテクテッド（保護された）バイクレーンという所以でしょう。また、このバイクレーンは自転車だけでなく車椅子の利用者も通行でき、その際は自転車は、車椅子を優先することとされています。

日本での自転車専用通行帯との大きな違いは、自動車が駐車をすることができないことで、バイクレーンより中央寄りに別にパーキングレーンが設定されている道路もあります。このため、自動車のドライバーは駐車した後にバイクレーンを横切って歩道に上がるようになります。この方式なら、日本のように自転車専用帯に自動車が駐車しているために車線変更をしなくてはならないといったことが起きることがありません。

バイクレーンは対面通行（アメリカですから相手を左に見る右側通行です）ですが、十分な幅があるので対向する自転車が来ても不安感はありません。

交差点の信号機には、自転車専用の信号が付けられているところもありますが、まだ少数です。通常は自動車と同じ信号機を使用して右左折しています。左折する際は、自動車と一緒に左折レーンに入って通過していくことが普通です。その際も他のドライバーと手をあげたり、アイコンタクトを取りながら自然な形で通行しています。シアトル市では、歩行者も自転車も自動車もすべての移動手段が安全に市内で通行できるようにシアトル市の交通局が計画を作って進めています。下記にそのリンクを掲載しましたので、興味のある方はご覧ください。

なかなかコロナ禍の終息が見通せない現状ですが、終息したらまた、シアトルを訪問してこの計画のその後を見てみたいと思います。

<シアトル市交通局（SDOT）の地アトル市中心部でのバイクレーン計画に関するWEBページへのリンク>

<http://www.seattle.gov/transportation/projects-and-programs/programs/bike-program/center-city-bike-network>



2nd アヴェニューに設定されたバイクレーン（2015 年）



バイクレーンで停止する自転車と横断する歩行者（2015 年）



交差点には通常の信号機の下に自転車専用の信号機が付いている(2015 年)

自転車文化センターは、競輪の補助を受けて事業を行っております。